

第4回安中市総合計画審議会会議録

(以下、敬称略)

【日 時】 令和5年11月29日(水) 午後2時00分～3時45分

【場 所】 市役所本庁舎 201 会議室

【出席委員】 10名(小竹委員、坂田委員、伏田委員、高橋委員、大塚委員、野澤委員、片岡委員、井上委員、小坂委員、竹下委員)

【欠席委員】 8名(佐藤委員、萩原委員、矢野委員、神宮委員、武井委員、長野委員、本多委員、青木委員)

【事務局】 6名(企画政策部長、政策・デジタル推進課長、政策・デジタル推進係課長補佐、政策担当係員1名及びジャパン総研2名)

【配付資料】

資料1 次第

資料2 第3次安中市総合計画案に対する意見募集(パブリックコメント)の結果

資料3 第3次総合計画(案)(修正箇所のみ)

資料4 総合計画 資料編

資料5 総合計画 概要版

【詳 細】

1 開会 《政策・デジタル推進課長》

2 会長挨拶

3 協議事項

(小竹会長が議事録署名人として野澤委員と井上委員を指名)

(1) パブリックコメント結果について

<説明>事務局

➤ 10月25日から11月20日までの期間で、パブリックコメントを実施した。

➤ パブリックコメントの結果と回答案、計画の修正の有無を説明する。(資料2に沿って説明)

<協議>

委員	№3.の意見について、医療機関が充実していないため受診率が低いという印象を受ける。回答では、検診を受けることができる医療機関の状況などについても説明した方が良い。
会長	受診券を市外の医療機関で使っても使用枚数に反映されるのか。
事務局	使用枚数に反映される。
会長	それであれば、受診率と医療機関が市内にあるかどうかは関係がないということになる。
事務局	回答案及び、受診券の説明の中で、受診券は市外の医療機関でも使用でき、使用枚数に反映されることを追加する。
委員	市内に大きい産婦人科はどのくらいあるのか。また、今後増やす方向性などはあるのか。市外に行ってしまうのは大きい病院が無いからではないか。
事務局	出産までできる産婦人科の病院はないと思われる。

(2) 総合計画資料編について

<説明>事務局

- 資料４に沿って説明する。
- 1. 安中市の概況について、項目（市の概況、交通、産業、財政）を説明。なお、財政については、この中から削除する方向で考えている。計画全体の総ページ数との調整も必要である。
- 2. 市民による評価・意識の状況について、ワークショップやアンケートの実施状況を説明。
- 市ホームページには市民参画事業の報告書を公表している。
- 3. 第３次安中市総合計画策定の経過を説明。
- 4. 安中市総合計画審議会について説明。
- 5. 基本計画について説明。重点プロジェクトの主な事業の概要については、本編重点プロジェクトに記載している主な事業の説明である。
- 事業名称を変更している（計画本体を変更している）箇所があるため資料３の修正点に従って説明。また、資料３の修正点には、パブリックコメントとして計画案を公表した後に生じた、内容を修正すべき事項についても記載している。これについては、今後一覧に取りまとめ公表することとする。
- 資料３に基づき修正点を説明。

<協議>

会長	資料編の１. 安中市の概況については、事務局の説明でもあったが、計画全体の総ページ数の関係などあることから、事務局に任せたい。そのため、会長一任としていただきたい。
委員	公共交通についての意見が多くあるが、総合計画は上位の計画であり、具体的な対応などは個別計画ということで良いか。
事務局	ご意見のとおり、分野ごとに詳細な個別計画を策定し、進めていくことになる。
委員	利用客が減少する中で、路線や本数を増やしてほしいという意見がありバランスが課題である。
委員	赤字路線への対応が課題であり、デマンド型の公共交通が必要であると感じている。
委員	重点プロジェクトにおいて、ひとり親家庭について一言も触れていないのが気になる。
事務局	重点プロジェクトでは触れてないが、基本施策の中で、「すべてのこどもが生まれ育った環境に左右されることなく」という表現で取組を表している。分野ごとの個別計画では、さらに細かい計画を策定している。
会長	少し検討したい。
委員	出産の環境を整えるには、安心して産むことができる病院が市内にあるということが重要ではないか。移住者に市内に産婦人科がないことが、子育てに向いていない市であるという印象を与えてしまわないか懸念される。今後どのような方針か。
事務局	市内に出産ができる病院を設置することはとても難しい。市民からも同様の要望がある中で、医師会にも相談しているが厳しい状況とのことである。現在は、病院までの交通費の援助など経済的な支援の拡充を検討している。
会長	市民ワークショップについて、どのくらいの時間をかけて行ったのかを明記してもらいたい。

事務局	120 分の時間で実施した。そのように対応する。
委員	ワークショップやアンケートで出た意見について、どこを計画に反映させたかが分かると良い。 また、先程の出産の受診率が 100%にならないのは、転出のほかに、出産をしない、受診をしないということもあるのではないかと。受診券の用語解説について「転出など」とした方が良い。
会長	「など」を追加することとする。 市民アンケートで、本市の住みやすい理由として一番多いのは「自然災害の心配が少ない」である。このあたりを基本目標 6-6 移住・定住の促進に加えたら良いのではないかと。

(3) 総合計画概要版について

<説明>事務局

- 本計画の概要版については、別冊の冊子でつくとともに、同じものを本編の目次の前に入れることとする。別冊でつくる概要版については、観音開きのデザインで 8 ページとする。
- 概要版についてページごとに説明。
- 概要版についても、本編同様に今後、デザインを進めていく。

<協議>

委員	概要版で「光り輝くあんなか」とあるが、この表現にはどのような意味が込められているのか。
事務局	群馬県の中で存在感を高めたいという思いである。
委員	概要版のことではないが、男女共同参画の指標としては、「くるみん認定企業数」も良いのではないかと。
事務局	男女共同参画の計画も同時に策定しており、そこから「えるぼし」は抜粋している。「くるみん」についても検討したい。

4 その他

■ 事務局

- 本日の意見を踏まえ、修正すべきところは修正し、意見への対応が分かるようにして報告する。
- 12 月の市議会全員協議会で策定経過を報告する。
- 次回会議は 1 月 22 日 14 時開始予定。次の第 5 回審議会で最後となる予定である。
- 1 月 31 日に市長への答申を行う予定である。

5 閉会《政策・デジタル推進課長》

以上

議事録署名人

野澤 浩一

議事録署名人

井上 章子